

# 研究指導の概要

## ■ デザイン学学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 指導教員・所属研究室の決定</li> <li><input type="checkbox"/> 研究計画届の提出</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研究実施（科目名：デザイン学特別研究A）</li> <li>：指導教員の下でのディスカッション等を通し、研究テーマ決定と研究構想を確定</li> <li><input type="checkbox"/> 春学期末の研究構想発表会で成果を確認</li> </ul>
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 授業科目の受講</li> <li>・海外研修1(選択)</li> </ul>
	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研究実施（科目名：デザイン学特別研究B）</li> <li>：指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める</li> <li><input type="checkbox"/> 秋学期末の特別演習・特別研究発表会で成果を確認</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 第1段階達成度審査（ASA1）でDPの獲得状況を確認</li> <li>※達成度審査委員会は（主指導＋副指導＋教務委員）で構成され学生ごとに達成度評価の認定を行い、結果を学生にフィードバックする</li> <li>◆ 授業科目の受講</li> </ul>
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ</li> <li>・海外研修2(選択)</li> <li><input type="checkbox"/> 研究成果報告書の提出</li> </ul>
2 年次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 研究計画届の提出</li> <li>■ 研究実施（科目名：デザイン学特別研究C）</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>：指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める</li> <li><input type="checkbox"/> 春学期末の研究発表会で成果を確認</li> </ul>
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 授業科目の受講</li> <li>・海外研修3(選択)</li> </ul>
	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研究実施（科目名：デザイン学特別研究D）</li> <li>：指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める</li> <li><input type="checkbox"/> 秋学期末の特別演習・特別研究発表会で成果を確認</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 第2段階達成度審査（ASA2）でDPの獲得状況を確認</li> <li>◆ 授業科目の受講</li> </ul>
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ</li> <li>・海外研修4(選択)</li> <li><input type="checkbox"/> 研究成果報告書の提出</li> </ul>

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
3 年 次	春	A	<input type="checkbox"/> 研究計画届の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 研究実施（指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める） ★ 最終達成度審査（FASA）で、DPの獲得状況を確認するとともに、学位論文提出要件を確認する ◆ 授業科目の受講 ・ 海外研修5(選択)
		B	
		C	
	秋	A	<input checked="" type="checkbox"/> 研究実施（指導教員の下でのディスカッション等を通して研究を進める） <input type="checkbox"/> 学位論文の予備審査・最終審査により、修了要件の一部を確認する ◆ 授業科目の受講 ・ 海外研修6(選択)
		B	
		C	
		<input type="checkbox"/> 研究成果報告書の提出	

# 達成度評価ワークショップ Assessment of Student Achievement (ASA) Workshop

デザイン学学位プログラム 教務委員会  
小山慎一



When you say you got a master's or PhD degree from Tsukuba, people/companies ask you.....

- What did you study? What was your GPA?
- What can you do for us? => You will show your competence.





## Purpose of ASA

- Meet the request from the society
- Maintain/Improve quality of education



## コンピテンス(博士前期)

- 汎用コンピテンス General Competence
  - 知の活用力: 高度な知識を社会に役立てる能力
  - マネジメント能力: 広い視野に立ち課題に的確に対応する能力
  - コミュニケーション能力: 専門知識を的確に分かりやすく伝える能力
  - チームワーク力: チームとして協働し積極的に目標の達成に寄与する能力
  - 国際性: 国際社会に貢献する意識





## コンピテンズ(博士前期)

- 学位プログラムコンピテンズ Degree Program Competence
  - 構想・表現力: 課題抽出能力(目利き力)と計画立案能力
  - 分析力: 広い視点から問題を解決する専門的問題分析力
  - 解決力: 専門力に裏付けられ、新しい解決策を生み出し、成果を社会や学术界に提案する力



## コンピテンズ(博士後期)

- 汎用コンピテンズ General Competence
  - 知の創成力: 未来の社会に貢献し得る新たな知を創成する能力
  - マネジメント能力: 俯瞰的な視野から課題を発見し解決のための方策を計画し実行する能力
  - コミュニケーション能力: 学術的成果の本質を積極的かつ分かりやすく伝える能力
  - リーダーシップ力: リーダーシップを発揮して目的を達成する能力
  - 国際性: 国際的に活動し国際社会に貢献する高い意識と意欲





## コンピテンス(博士前期)

- 学位プログラムコンピテンス DP Competence

- 構想・思考力: 高度な課題抽出能力(目利き力)と専門的研究計画立案能力“
- 分析力: 高い視野に立って広い視点から問題を解決す高度な問題分析力
- 解決力: 高度な専門力に裏付けられ、新しい解決策を生み出し、成果を社会や学术界に提案する力



## 達成度評価の実施方法

1. 学生による自己評価(自己評価シートの記入・提出)  
カリキュラム・マップを元に、学生が修得した科目に応じた汎用/専門コンピテンスの修得状況を報告する。学会発表、論文作成、TA経験、ボランティア活動などの授業以外の活動も積極的に評価する。自己評価シートに記入し、エビデンスとともに提出する
2. 審査委員会(主指導+副指導+教務委員)による審査  
達成度評価の認定を行い、結果を学生にフィードバックする





# コンピテンスと授業の関係:カリキュラムマップ

(人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程)			汎用コンピテンス					専門コンピテンス							
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		1	2	3	4	5	1	2	3
			必修	選択	自由	講義	演習・実験・実習	知の活用力	マネジメント能力	コミュニケーション能力	チームワーク力	国際性	構想・表現力	分析力	解決力
<b>■デザイン学学位プログラム (M)</b>															
基礎科目	デザイン学基礎論	1前	2			○		○					○		
	人間総合科学基礎論**	1・2前	1				○						○	○	○
	研究倫理*	1・2前	1			○		○	○						○
	サイエンスコミュニケーション概論*	1・2前		1			○		○				○		
	自然災害にどう向き合うか*	1・2前		1		○		○	○				○	○	
	こころの神経科学**	1・2通		1		○		○					○	○	
	音響メディア情報**	1後		1		○							○	○	○
	大学を開くデザインプロデュース A**	1・2前		1			○			○			○		○
	大学を開くデザインプロデュース B**	1・2前		1			○			○			○		○
	大学を開くデザインプロデュース C**	1・2後		1			○			○			○		○
小計 (10科目)	-		4	7	0	-									
専門科目	感性脳科学特講	1・2前		2		○		○						○	
	視覚情報デザイン論特講	1・2後		2		○		○						○	
	色彩デザイン論特講	1・2前		2		○		○						○	

## 自己評価シートの記入例(博士前期)

達成度自己評価シート (2021年度) (デザイン学学位プログラム博士前期課程)

学籍番号: \_\_\_\_\_ 学生氏名: \_\_\_\_\_ 主査氏名: \_\_\_\_\_ 記入年月日: \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

コンピテンス		評価の観点 (①と②の両方を満たしているか) (①と②はandとして考える)	自己評価※	評価理由	認定	達成度評価委員会による評価	評価委員会コメント
汎用コンピテンス	1 知の活用力	① 高度な知識を社会に役立てる能力 ② 幅広い知識に基づいて、専門分野以外でも問題を発見することができるか					
	2 マネジメント能力	① 広い視野に立ち課題に的確に対応する能力 ② 複数の視点から問題を捉え、解決する能力はあるか					
	3 コミュニケーション能力	① 研究等を円滑に実施するために必要なコミュニケーションを十分に行うことができるか ② 研究内容や専門知識について、その分野だけでなく異分野の人にも的確かつわかりやすく説明することができるか					
	4 チームワーク力	① チームとして協働し積極的に課題に取り組んだ経験はあるか ② 自分の研究以外のプロジェクト等の推進に何らかの貢献をしたか					
	5 国際性	① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する意欲があるか ② 国際的な情報収集や行動に必要な語学力を有するか					
学域プログラムコンピテンス	6 構想・表現力	課題抽出能力 (目利き力) と計画立案能力 専門的な問題の所見にも精通し、課題抽出能力を活かして研究・制作を立案し、表現する力を身につけたか。					
	7 分析力	① 専門分野における優れた研究を実施するための専門的問題分析力を身につけたか。 ② 幅広い分野から、総合的なデザイン課題を分析する能力を身につけたか。					
	8 解決力	専門力に裏付けられ、新しい解決策を生み出し、成果を社会や学術界に提議する力 インターシッパや実践的演習により問題解決力 (在務完結力)・突破力 (計画立案能力) を獲得したか。					

※評価結果を1~3の数値で記入する。すべてのコンピテンスについて、毎回自己評価を行うこと。

1: 今後の達成を目指す 2: ほぼ達成できた 3: 達成できた

最終達成度審査に合格するためには、所定の30単位を履修の上、1~8のすべての項目で「妥当」以上の認定を受ける必要がある (認定は「優秀」「妥当」「未達成」の3段階)。

# 自己評価シート(仮)の記入例(博士後期)

## 達成度自己評価シート(2021年度) (デザイン学学位プログラム博士後期課程)

学籍番号:                      学生氏名:                      主査氏名:                      記入年月日:    年 月 日

コンピテンス		評価の観点(①と②の両方を満たしているか) (①と②はandとして考える)	自己評価※	評価理由	認定	達成度評価委員会による評価	評価委員会コメント
実践コンピテンス	1 知の創成力	未来の社会に貢献し得る新たな知を創成する能力		① 新たな知の創成といえる研究成果等があるか ② 人類社会の未来に資する知を創成することが期待できるか			
	2 マネジメント能力	俯瞰的な視野から課題を発見し解決のための方策を計画し実行する能力		① 重要な課題に対して長期的な計画を立て、的確に実行することができるか ② 専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰的な視野から解決する能力はあるか			
	3 コミュニケーション能力	学術的成果の本質を構造的かつわかりやすく伝える能力		① 異分野の研究者や研究者以外の人に対して、研究内容や専門知識の本質を分かりやすく論理的に説明することができるか ② 専門分野の研究者等に自分の研究成果を構造的に伝えるとともに、質問に的確に答えることができるか			
	4 リーダーシップ力	リーダーシップを発揮して目的を達成する能力		① 魅力的かつ視力のある目標を設定することができるか ② 目標を実現するための体制を構築し、リーダーとして目的を達成する能力があるか			
	5 国際性	国際的に活動し国際社会に貢献する高い意欲と意欲		① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する高い意欲と意欲があるか ② 国際的な情報収集や行動に十分な語学力を有するか			
学位プログラムコンピテンス	6 構想・思考力	高度な課題抽出能力(目利き力)と専門的研究計画立案能力		専門的な問題の細部にも精通し、高い課題抽出能力を活かして研究・制作を立案・実施する力を身に付けたか。			
	7 分析力	高い視野に立って広い視点から問題を解決する高度な問題分析力		① 専門分野における高度で優れた研究を実施するための高い専門的問題分析力を身につけたか。 ② 広い分野と高い専門的知識から、総合的なデザイン課題を分析する能力を身につけたか。			
	8 解決力	高度な専門性に裏付けられ、新しい解決策を生み出し、成果を社会や学術界に提案する力		① インターンシップや実践的研究の実施により高度な問題解決力(任務完結力)    ② 強靱な突破力(計画立案能力)を獲得したか。			

※評価結果を1～3の数値で記入する。すべてのコンピテンスについて、毎回自己評価を行うこと。

1: 今後の達成を目指す    2: ほぼ達成できた    3: 達成できた

最終達成度審査に合格するためには、所定の6単位を取簿の上、1～8のすべての項目で「妥当」以上の認定を受ける必要がある(認定は「優秀」「妥当」「未達成」の3段階)。



- 「何を学んだのか」ではなく、「何ができるようになったのか」を書いてほしい
- Write what competence you gained, rather than what you learned.

I took an English course and learned English grammar.

=> I took an English course and my TOEFL score became 90.







- 筑波大学スタンダードで評価して欲しい。
- 基準が高すぎても低すぎてもいけない。基準は今までの修了生と比較して考える
- Evaluate with Tsukuba Standard.
- Our standard should not be too low or too high. Compare our standards to those of graduated.



- デザイン学学位プログラムの博士前期課程は「30単位分以上学修することによって8つのコンピテンスを得られるように大学院は設計されている」ということを考慮して欲しい(単純計算で1コンピテンスあたり3.75単位分以上の学修が必要)
- Consider that DPD for masters' is designed for you to achieve 8 kinds of competence by taking graduate-level courses for 30+ credits (nearly equal to 3.75+ credits/competence, For PhD 0.75credits/competence)





- 博士後期のコンピテン스는「論文を書くためのコンピテンス」「博士として働くためのコンピテンス」として考える
- Consider that competence for doctors' means competence to write a research paper and competence to work as a PhD. Please check each competence you think obtained is sufficient to write a paper and work as a PhD.



- 「分析力」には修士論文(博士前期)もしくは原著論文2本(博士後期)が必要
- For 分析力, you need to submit your masters' thesis (masters' program) or two original research papers (doctoral program).





## エビデンスについて

- 「何をやったのか」ではなく「何ができるようになったのか」をエビデンスで示してほしい
- Your evidence should show what you achieved, rather than what you did.
- 追加の資料が必要な場合には後から連絡するので、必要最低限な量を提出すればよい
- We will contact you when we need additional evidence. So please submit minimum and necessary evidence.
- シラバスや成績表は提出不要
- No need to submit syllabus and/or transcript



## 未達成のコンピテンスについて

- コンピテンスは修了までに習得すればよいので、今年度習得できなかったコンピテンスは来年度習得すればよい
- You don't need to achieve all competence this year. You can try next year.
- 今回の自己評価を行う際に、来年度以降の計画も立てるとよい
- During the self-evaluation, make a good plan for next year.





## 今後の予定(博士前期)

- 2月28日(火) 自己評価シートをmanabaに提出
- Submit your self-evaluation to manaba by February 28th.
- 3月中に審査を行い、3月末に返却
- Your self-evaluation will be reviewed by the ASA committee and returned to you by March 31st.



## ASA for PhD students

ASA1 Done 研究構想発表会

ASA2 End of 2<sup>nd</sup> year

ASA3 Middle of 3<sup>rd</sup> year

FASA End of 3<sup>rd</sup> year





## Q and A



## お問い合わせ先

- ご質問等がありましたら小山までお願いします。  
skoyama@geijutsu.tsukuba.ac.jp



# 達成度評価と学位論文について Diploma Policy

デザイン学学位プログラム 教務委員会  
小山慎一

Degrees Program in Design, Academic Affairs Committee  
Shinichi Koyama



I will speak Japanese while showing slides in English.

The same information is available at the DPD website (in Japanese) and can be translated by Google Chrome.

<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/mdes/>

<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/ddes/>





## Our goals 養成する人材像

- The program aims to nurture **highly skilled professionals** with the qualities of **international top leaders or researchers** at the core of diverse research and educational institutions.



We need to keep ourselves the best university in order to develop the best people.

We need to develop the best people in order to keep ourselves the best university.





## Requirements for Master's/PhD diploma

- Course Credits
- Supervision
- Pass the final exam
- Pass the thesis exam



## Assessment of Students' Achievement (ASA)

- As a part of supervision and final exam, we do Assessment of Students' Achievement (ASA) and make sure that students obtain 8 kinds of competence.
- Students evaluate their achievement by self-report and the ASA committee checks it.
- By doing this, we want to promote you to learn proactively and also check our curriculum.







## General Competence for PhD students

- **Knowledge creation:** Ability to create new knowledge that can contribute to future society
- **Management skills:** Ability to discover issues from a bird's eye view, and to plan and implement measures to solve them.
- **Communication skills:** Ability to communicate the essence of academic achievements in a positive and easy-to-understand manner.
- **Leadership skills:** Ability to achieve objectives through leadership
- **Internationality:** High awareness and willingness to work internationally and contribute to the international community



## Degree Program Competence for PhD students

- **Conceptualization and thinking skills:** advanced problem identification (discernment) and professional research planning skills
- **Analytical skills:** advanced problem analysis skills to solve problems from a broad perspective from a high vantage point
- **Problem-Solving ability:** ability to create new solutions and propose the results to society and academia, backed by advanced professional skills





## In order to obtain Analytical Skill

PhD:

You need to publish 2 peer-reviewed research papers, or 1 peer-reviewed research paper PLUS 1 peer-reviewed proceedings in an international conference or 1 work evaluated by international organization.

Masters:

You need to complete your master's thesis.



## Time schedule for ASA (Master's)

Research Proposal Form	M1 Spring
ASA1	M1 Fall
ASA2	M2 Spring
Final ASA	M2 Fall





## Time schedule for ASA (PhD)

Research Proposal Presentation (ASA1)	D1 Spring
ASA2	D2 Fall
ASA3	D3 Spring
Final ASA	D3 Fall



## How to perform ASA

1. Students write self-report.
2. ASA Committee (main advisor + co-advisor + Academic Affairs Committee) checks your report and give feedback.

We will have an ASA workshop in February and explain more details.





# Curriculum Map

## Competence Names

(人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程)			汎用コンピテンス					専門コンピテンス								
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			1	2	3	4	5	1	2	3
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	知の活用力	マネジメント能力	コミュニケーション能力	チームワーク力	国際性	構想・表現力	分析力	解決力
<b>■デザイン学学位プログラム (M)</b>																
基礎科目	デザイン学基礎論	1前	2			○			○					○		
	人間総合科学基礎論**	1・2前	1				○							○	○	○
	研究倫理*	1・2前	1			○			○	○						○
	サイエンスコミュニケーション概論*	1・2前		1				○		○				○		
	自然災害にどう向き合うか*	1・2前		1		○			○	○				○		
	こころの神経科学*	1・2通		1		○			○	○				○	○	
	知のマネジメント情報*	1・2後		1		○			○	○				○	○	○
	大学を開くデザインプロデュース A**	1・2前		1							○	○		○		○
	大学を開くデザインプロデュース B**	1・2前		1							○	○		○		○
	大学を開くデザインプロデュース C**	1・2後		1							○	○		○		○
小計 (10科目)	-		4	7	0											
専門科目	感性脳科学特講	1・2前		2		○			○						○	
	視覚情報デザイン論特講	1・2後		2		○			○						○	
	色彩デザイン論特講	1・2前		2		○			○						○	

Course Names

## Self-Assessment Report

### 達成度自己評価シート (2021年度) (デザイン学学位プログラム博士後期課程)

学籍番号: \_\_\_\_\_ 学生氏名: \_\_\_\_\_ 主査氏名: \_\_\_\_\_ 記入年月日: 年 月 日

	コンピテンス		評価の観点 (①と②の両方を満たしているか) (①と②はandとして考える)	自己評価※	評価理由	認定	達成度評価委員会による評価	評価委員会コメント
	汎用コンピテンス	専門コンピテンス						
汎用コンピテンス	1	知の創成力 未来の社会に貢献し得る新たな知を創成する能力	① 新たな知の創成といえる研究成果等があるか ② 人類社会の未来に資する知を創成することが期待できるか					
	2	マネジメント能力 俯瞰的な視野から課題を発見し解決のための方策を計画し実行する能力	① 重要な課題に対して長期的な計画を立て、的確に実行することができるか ② 専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰的な視野から解決する能力はあるか					
	3	コミュニケーション能力 学術的成果の本質を積極的かつわかりやすく伝える能力	① 異分野の研究者や研究者以外の人口に対して、研究内容や専門知識の本質を分かりやすく論理的に説明することができるか ② 専門分野の研究者等に自分の研究成果を積極的に伝えるとともに、質問に的確に答えることができるか					
	4	リーダーシップ力 リーダーシップを発揮して目的を達成する能力	① 魅力的かつ経済力のある目標を設定することができるか ② 目標を実現するための体制を構築し、リーダーとして目的を達成する能力があるか					
	5	国際性 国際的に活動し国際社会に貢献する高い意欲と覚悟	① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する高い意欲と覚悟があるか ② 国際的な情報収集や行動に十分な語学力を有するか					
学位プログラムのコンピテンス	6	構想・思考力 高度な課題抽出能力 (目利き力) と専門的研究計画立案能力	専門的な問題の抽出にも精通し、高い課題抽出能力を活かして研究・制作を立案・実施する力を身に付けたか。					
	7	分析力 高い視野に立って広い視点から問題を解決し高度な問題分析能力	① 専門分野における高度で優れた研究を実施するための高い専門的問題分析力を身に付けたか。 ② 広い分野と高い専門的知識から、総合的なデザイン課題を分析する能力を身に付けたか。					
	8	解決力 高度な専門力に裏付けられ、新しい解決策を生み出し、成果を社会や学術界に提案する力	① インタベンションや実践的研究の実施により高度な問題解決力 (任務完結力) ② 強固な突破力 (計画立案能力) を獲得したか。					

※評価結果を1~3の数値で記入する。すべてのコンピテンスについて、毎回自己評価を行うこと。

1: 今後の達成を目指す 2: ほぼ達成できた 3: 達成できた

最終達成度審査に合格するためには、所定の6単位を取った上、1~8のすべての項目で「妥当」以上の認定を受ける必要がある (認定は「優秀」「妥当」「未達成」の3段階)。



# Thesis Review Schedule

## Masters'

- November: Title submission
- December: Submission
- January: Review, Oral Defense, Exhibition, book of abstracts (梗概集)

## PhD

- September: Preliminary Review
- November: Main Review
- December – January: Final Oral Defense
- Early completion program and long-term completion programs also available



# In order to write a good thesis

## Common to both Master's and Doctoral Programs

- Begin preparation as soon as you enter the school
- Consult with your academic advisor
- Make presentations at conferences and get feedback

## Especially for PhD

- Write as many papers as possible and submit them to journals
- Expand your circle of researchers





## 日本学術振興会特別研究員 (JSPS fellowship)

- 優れた若手研究者に研究奨励金を支給する制度
    - DC1 月額20万円×3年間+150万円/年以下の研究費
    - DC2 月額20万円×2年間+150万円/年以下の研究費
    - PD 月額36万円×3年間+150万円/年以下の研究費
- <https://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>
- 採用されるためには優れた研究実績(査読付き論文+国際学会での発表)が必要なので希望者は指導教員と相談して早めに準備を始めること



## JST次世代研究者挑戦的研究プログラム

- 研究奨励費等(2023年度)
  - 区分1:特に優秀な学生(25%程度) :年額290万円  
(生活費相当額240万円、研究費50万円)
  - 区分2:その他優秀な学生(75%程度) :年額272万円  
(生活費相当額222万円、研究費50万円)
- 採用されるためには優れた研究実績(査読付き論文、学会発表など)が必要





## Questions

- If you have a question, please feel free to contact me. [skoyama@geijutsu.tsukuba.ac.jp](mailto:skoyama@geijutsu.tsukuba.ac.jp)

